

# ブレインストーミング

国語監修・執筆

中澤匠吾

## ■ 今回のポイント

- ① 発想を出し合う
- ② ブレインストーミングの留意点
- ③ アイデアを整理する

### ① 発想を出し合う

よりよいアイデアを生み出し、結論を共有するためには、「話し合い」が必要であり有効です。話し合いにはさまざまな方法があり、ルールに基づいて行われますが、まず、自由に発想を出し合う「ブレインストーミング」という方法について理解しましょう。

### ② ブレインストーミングの留意点

「ブレインストーミング」は、複数の人が集まり多くのアイデアを出し合い、新しいアイデアを生み出す話し合いの方法です。自由に大量のアイデアを出していくことが前提ですが、どのような点に注意して話し合う必要があるのかを確認しましょう。

### ③ アイデアを整理する

一つの結論を導くためには、自由な発想で出されたアイデアを整理、評価していくことが必要です。一定の評価軸を設けて、アイデアの価値や意義について検討していきます。



■ 今回の言語活動

■ ブレインストーミングに挑戦

テーマを設定して「ブレインストーミング」に挑戦します。自由な発想の出し合いとはいえ、一定のルールを理解し、心構えをもって臨むことが必要です。

《ブレインストーミングのルール》

- ① 質より量
- ② アイデアは簡潔に
- ③ 批判、嘲笑しない

ここで大切なのは、じっくり考え込んで即座に立派なものを生み出そうとするのではなく、シンプルなもの一つの思いつきを生かすということです。したがって、思いついたことについて「これは無理かも」と判断して発表を控えたり、他の人の意見を否定したりすることは避けるべきことといえます。

《アイデアに便乗し結合改善》

たくさんの方のアイデアの中には、自分では全く思いつかないようなものもあるかもしれません。しかし、そのアイデアをもとにして、「こんなこともあるかもしれない」「これもおもしろいかも」というように考えが発展し、さらに発想が広がっていくことも期待されます。

このように、他者のアイデア・意見に便乗して、新たなアイデアを付け加えたり改良したりすることを「結合改善」といい、ブレインストーミングにおいては歓迎される発想方法です。番組でも、他者のアイデアを聞くことから生まれた新たなアイデアがあげられています。

■ アイデアの整理

「ブレインストーミング」はアイデアを出し合うこと自体が目的なのではなく、よりよいアイデアを見つけ、それを生かしていくことに意味があります。たくさん出されたアイデアを単に羅列して「終わり」では、話し合いがまとまり、意味を成したとはいえないのです。そこで、あげられたアイデアについて整理、評価していくことが求められます。

番組では「Tの字マトリックス」という評価表を用いて、各アイデアを整理していきます。この評価についても、参加者の話し合いによって決めていきます。

《Tの字マトリックス》

今回は、テーマとなるある企画アイデアについて、縦軸には「意義」「労力」「予算」「新鮮味」という四つの評価要素を据え、横軸にはそれらの要素についての高低を数値化して評価します。この整理、評価によって、あげられた企画アイデアの中で何が高評価であるのかが浮かび上がってきます。このような評価項目を設け、視覚化することで、何となくぼやけていた各アイデアの位置づけを明確にしていくことができます。

■ 今回のまとめ

一人ひとりが発想し、話し合うという行為は、合意に基づく結論を得るためには大切なプロセスの一つです。「ブレインストーミング」によって出し合ったそれぞれのアイデアを尊重しつつ、整理し絞り込んでいくことで、たとえばある企画提案の際の「原案」が生まれることになります。この原案をもとにして、さらに議論を重ねて企画の実行、実現へとつながっていくのです。

一つのアイデアから、また別の新たなアイデアが生まれるというように、一人では発想できない新鮮な考え方に気づくことができるのも「ブレインストーミング」の効果です。このような話し合いの場を積極的に体験してください。